米子彫刻ロード清掃

国内外の作家による彫刻が並ぶ、アートな散歩道「米子彫刻ロード」の清掃が、9月24日に加茂川沿いで行なわれました。

この日は伊木市長も市民の皆さんと清掃活動に参加しました。

次回は11月26日（日）に開催予定です。皆さんも参加されてみてはいかがでしょうか？

■問合せ　文化課
（☎23−5436、FAX23−5414）

米子下町10選

「寺町散策と座禅体験」参加者募集

米子の下町（寺町）にスポットをあて、お寺が９つ並ぶ寺町を散策します。

住職にお話を聞いたり、普段見ることができない仏像を見学し、座禅体験をしたりと充実した内容になっています。

※悪天候の場合、中止になる場合があります。

■と　き　11月11日（土）午前9時　受付開始
午前9時15分出発
■ところ　山陰歴史館（集合）
■定　員　先着20人程度
■料　金　500円（ガイド料など）
■申込締切　11月8日（水）まで
■申込・問合せ　米子市観光協会
（☎37−2311、FAX37−2377）

「よなごの宝88選」から

寺町界隈の歴史と景観 《宝 No.47》

戦国時代末期に米子城築城を手掛けた吉川広家の頃から、弓ヶ浜方面からの敵の侵入に対し城下を守る目的で、寺を城の北西に集める計画が立てられていました。それが中村氏、加藤氏の時代に受け継がれ、現在では東の新小路から西の灘町まで約420メートルの道筋に、曹洞宗福厳院・瑞仙寺・安国寺、日蓮宗妙善寺・妙興寺・実成寺、曹洞宗法蔵寺、浄土宗心光寺、浄土真宗万福寺の9寺が軒を連ねています。また、隣接する岩倉町には浄土宗涼善寺と日蓮宗本教寺、灘町には真言宗吉祥院があります。

福厳院は、日野町にありましたが、延宝2年（1674）にこの場所に移されました。

瑞仙寺は、もと日下村にあった寺で、加藤貞泰の時にこの地に建立されました。日下には同名の寺が残り、山名氏や尼子氏の中世文書（県指定文化財）を多数伝えています。

安国寺は、室町時代に国家安穏の祈願所として国々に建てられたもので、伯耆町（旧岸本町）大寺にありましたが、戦国時代の動乱時に毛利方の杉原盛重の焼き討ちに遭い、のちに再興されここに移ったといわれています。

妙善寺の本堂には、戦国時代のものと伝えられる日蓮上人の像がまつられています。

妙興寺には、慶長8年（1603）11月14日に暗殺された中村家家老横田内膳の墓があり、遺品と共に市指定文化財になっています。

横田内膳墓碑

実成寺は、慶長年間に倉吉から米子（西倉吉町から後に寺町）に移されました。

法蔵寺には、米子で初めて種痘を施した医師・松本元泰の墓があります。

心光寺は、もと尾高村にあった源光寺をここに移したもので、慶応4年（1868）に結成された鳥取藩の農兵隊である「新国隊」の拠点となっていました。庭園は県指定名勝になっています。

万福寺には、江戸時代初めに竹島渡海をし、いろいろな産物を持ち帰った村川市兵衛の墓があります。

この界隈には寺が隣接し、風情のあるたたずまいとなっています。【よなごの宝88選実行委員会】

お知らせ　第72回よなご88探宝会　「米子の歴史と人物〜開拓、開墾に尽くした米村所平、深田家〜」
11月19日（日）午後0時30分、西部総合事務所集合。米川の開削、車尾地区の新田開発に関わる地を訪ねます。午後4時帰着予定。参加費：500円。申込みは、住所・氏名・電話番号を記入し、郵便、電話またはＦＡＸで「よなごの宝88選実行委員会事務局」（〒683-8686 米子市東町161-2　文化課内、☎23-5438、FAX23-5414）まで。定員30人。（定員になり次第締切）

教えて！米子城

第29回

米子城 秋たけなわ！

PDF ファイルでバックナンバーが読めます

同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化（カルチャー）のことにくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は「米子城 魅せる！プロジェクト2017」真っただ中、秋たけなわの米子城の話題をご紹介します。

かるちゃん：ミナちゃん、ジローくん、9月末に開催された**「ぐるり米子城スタンプラリーⅡ」**に参加してみてどうだったかな。

ミナちゃん：秋晴れの絶好のウォーク日和で気持ちよかったわ。やっぱり天守からの眺めはサイコーね。大山や日本海もよく見えたわ。

ジローくん：小さい子どもからお年寄りまで多くの人が参加してたけど、ふだん通らないルートなどもあって、みんな楽しそうに歩いていたよ。

かるちゃん：スタンプラリー形式で城山を巡ると、1時間半から2時間、1万歩くらい歩くことになる。手軽で楽しいウォーキングコースだね。

ミナちゃん：登山路の草刈りも行き届いていて、とても歩きやすかったわ。

ジローくん：クイズも楽しかったし、参加景品もよかったな。満足、満足。

かるちゃん：それはよかった。さーて、いよいよ11月は「米子城 魅せる！プロジェクト2017」のメイン月間だね。

ジローくん：1日（水）からは米子城跡ライトアップ。今年は天守だけでなく二の丸石垣もライトアップするんだよね。楽しみだな～。

ミナちゃん：そして11日（土）午後1時からはお待ちかね、米子市文化ホールで**「石垣で魅せる！山陰三城跡シンポジウム」**ね。

かるちゃん：そうだね。この3城跡は、石垣が魅力という共通点だけではなく、近年、保存・整備がらみでホットな話題を提供しているという点でも注目なんだ。まず**米子城跡**では、平成27年からの測量や発掘調査の成果として、これまでに**八幡台**（はちまんたい）、水手御門（みずのてごもん）の下方の古い石垣や郭（くるわ）、そして遠見櫓（とおみやぐら）と内膳丸（ないぜんまる）を結ぶ山の斜面では**登り石垣**の遺構が確認されている。（「教えて！米子城　第21回」参照）。

ジローくん：月山富田城跡（がっさんとだじょうあと）では、山頂部の整備や大規模な樹木の伐採などが進められていて、去年、**七曲り**（ななまが）の登城路も改修されて歩きやすくなったし、視界が開けて山城（やまじろ）の高さを実感できるようになった。現在整備が進行中の部分もあって、これからも楽しみな城跡だよね。

ミナちゃん：鳥取城跡では、この9月、古絵図にも記載されていない三の丸石垣下方の石垣や、雨水処理のための沈砂桝（ちんさます）、番所跡の遺構が発掘調査によって発見されたというニュースを見たわね。

かるちゃん：そんな3城跡の現場担当者の皆さんをパネラーに迎えてのパネルディスカッションも楽しみだね。講師兼コーディネーターの**加藤理文**（かとうまさふみ）先生も含め、学術的なことだけでなく、城跡を楽しむツボをいちばん知っている人たちだからね。絶対に見逃せないよ。

ぐるり米子城スタンプラリーⅡの様子

山陰三城跡シンポジウム（11/11）

11月11日の「石垣で魅せる！山陰三城跡シンポジウム」はとにかく必見です。次回もおたのしみに！

（米子市教育委員会　文化課）